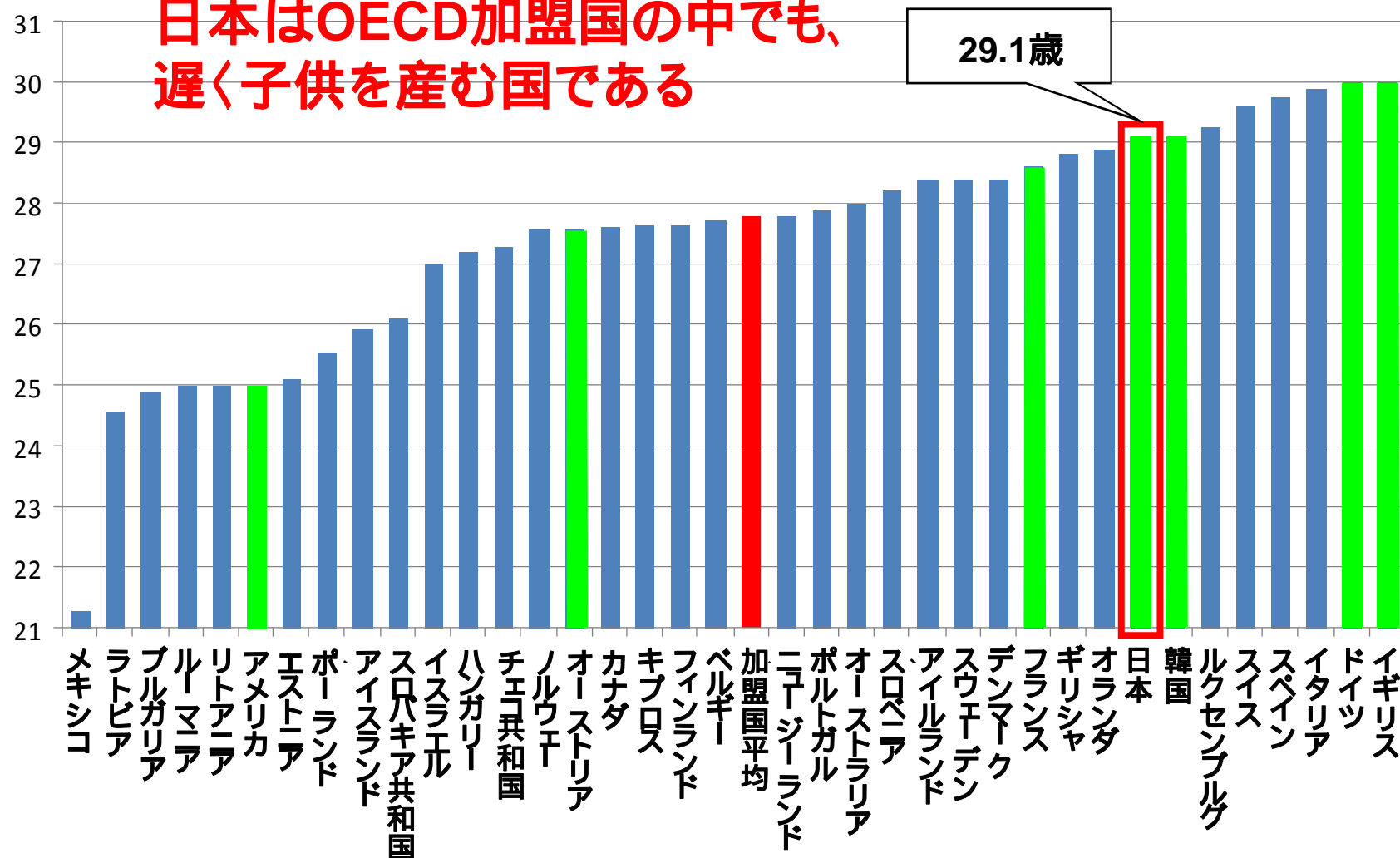


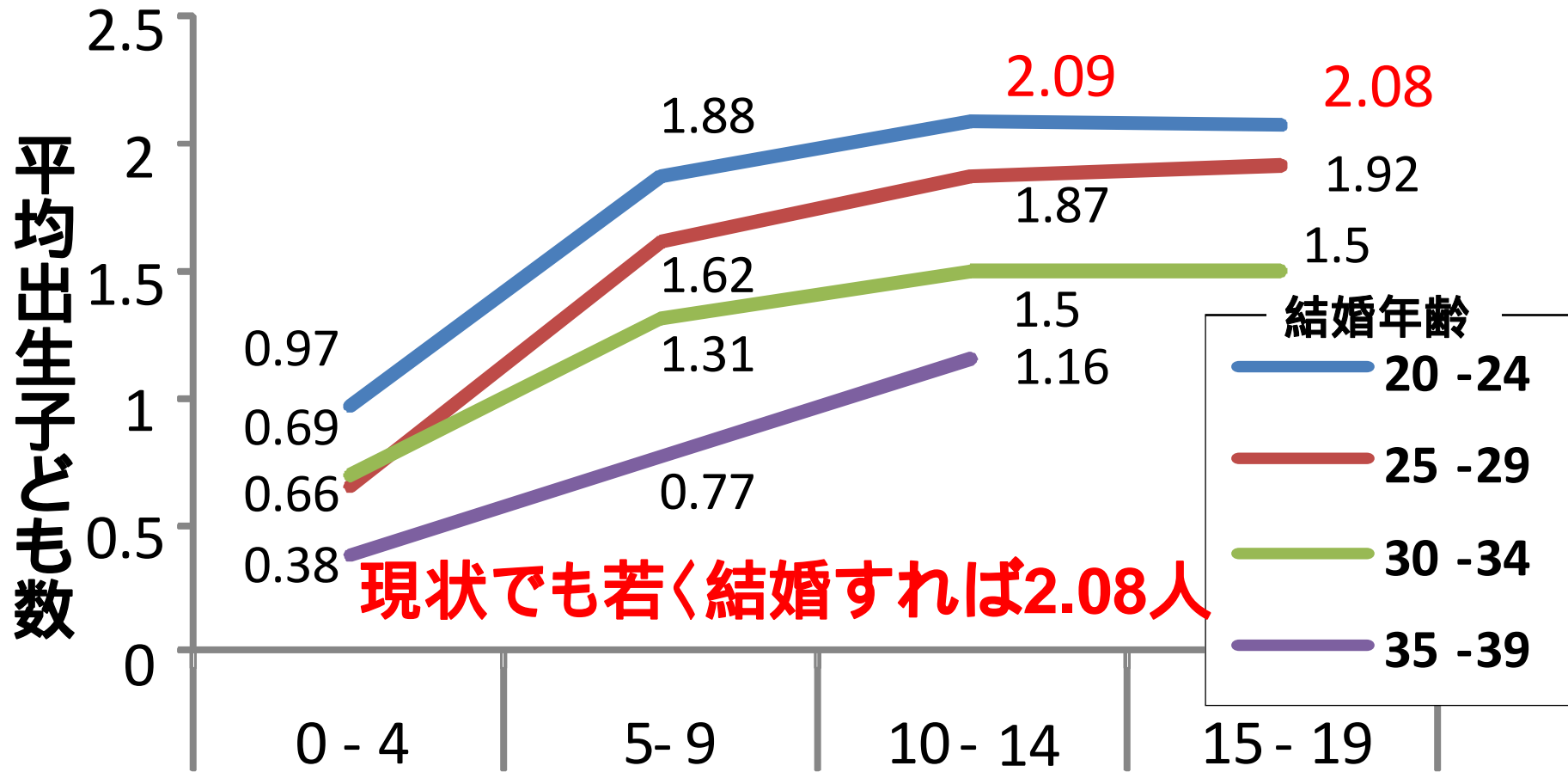
OECD加盟国の第1子出生平均年齢(2008年発表)

日本はOECD加盟国の中でも、遅く子供を産む国である



(備考: カナダ、イタリアは2007年、メキシコ、アメリカ、フランス、イギリスは2006年、オーストラリア、デンマーク、日本、韓国、ニュージーランドは2005年の平均年齢を使用)

妻の結婚年齢別に見た、結婚 持続期間別平均出生子ども数

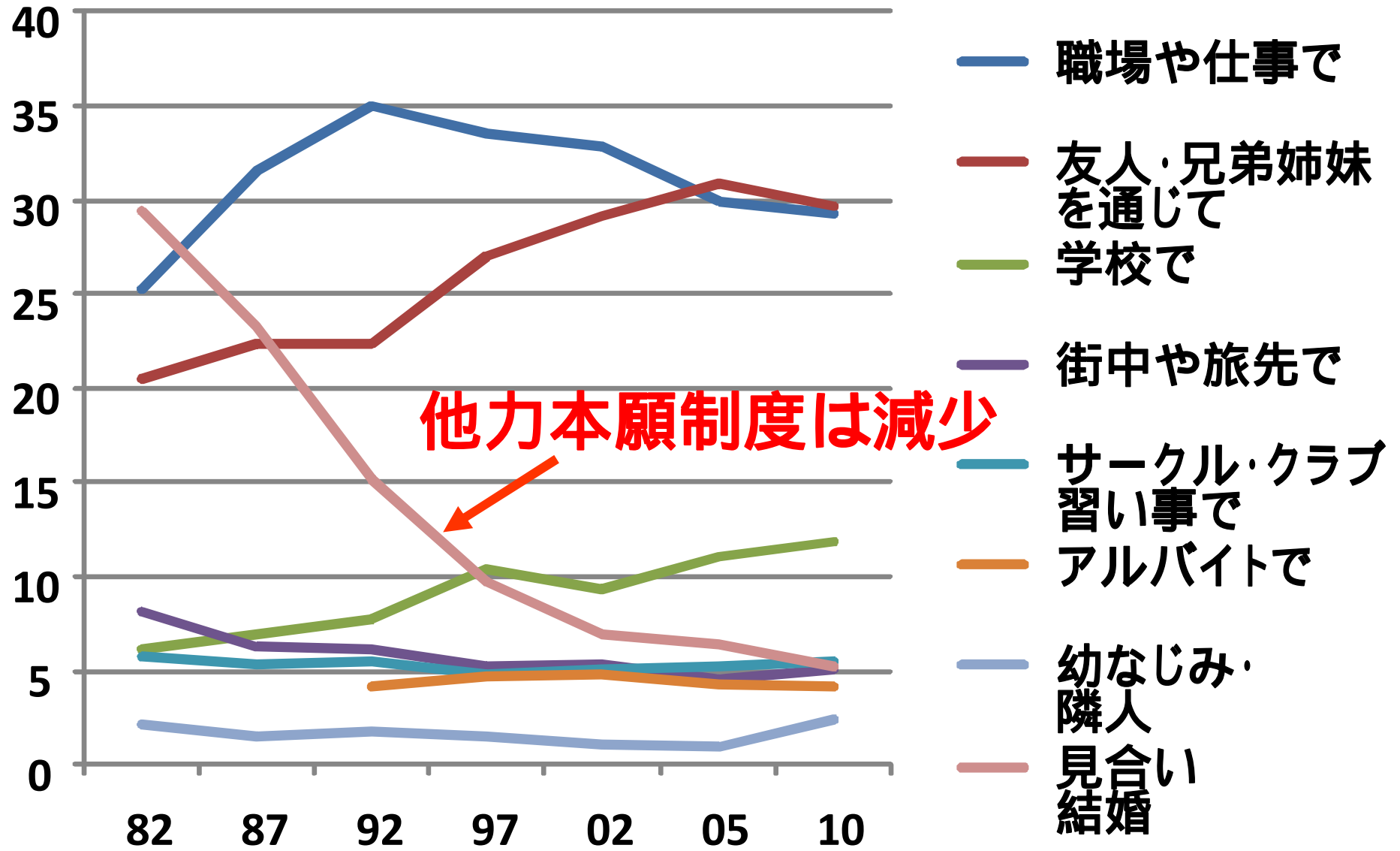


現状でも若く結婚すれば2.08人

結婚持続期間

国立社会保障・人口研究所
第14回出生動向基本調査

出会いのきっかけ



他力本願制度は減少

調査年次

国立社会保障・人口研究所
第8～14回出生動向基本調査

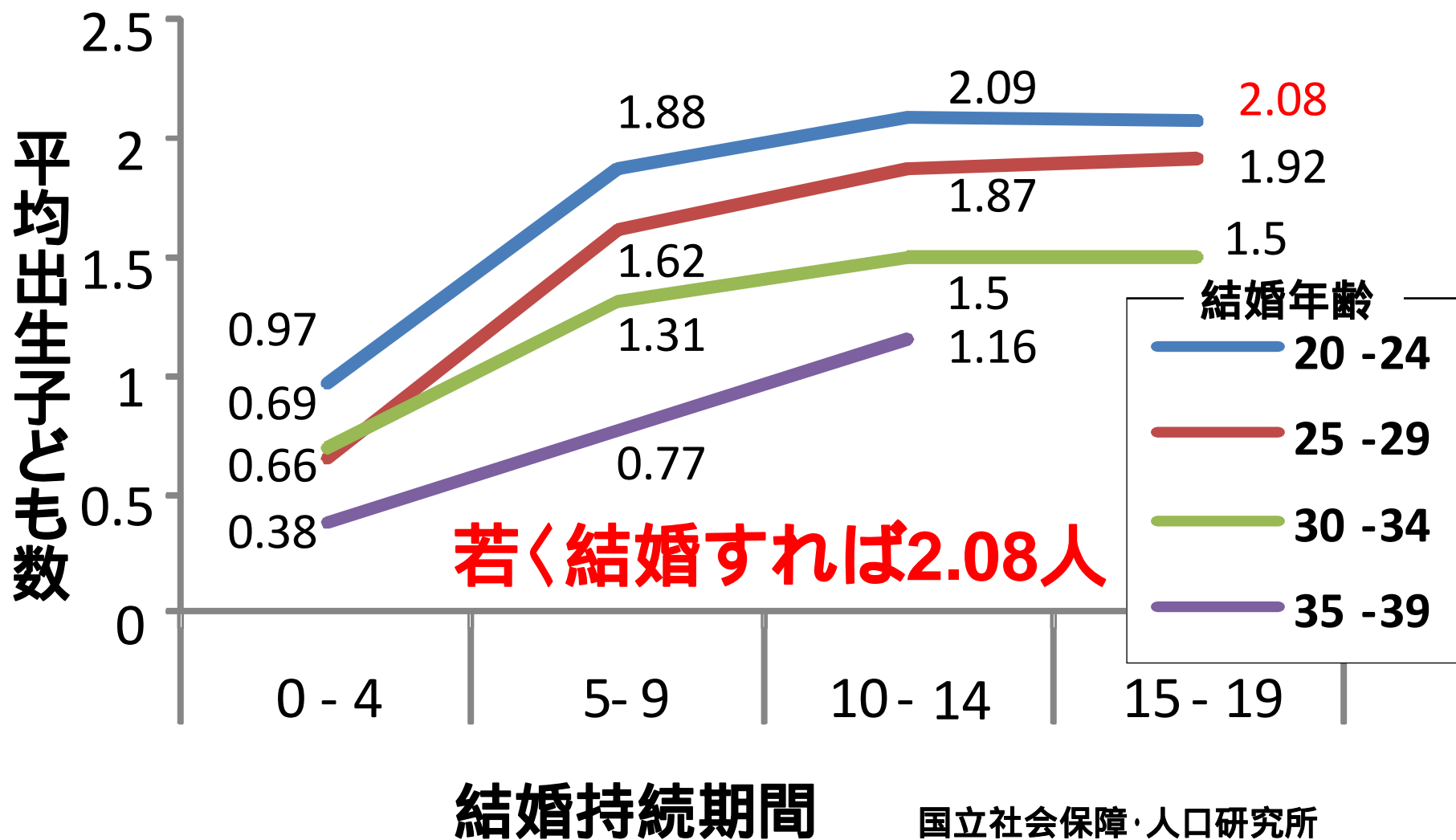
Take-home message

**妊娠・出産適齢期と
日本の現状は、
かけ離れています。
また、結婚には自ら努力
する必要があります。**

ではどうすれば？

**若い時期に
より多くの情報を得て
自らのライフプランを
作成する**

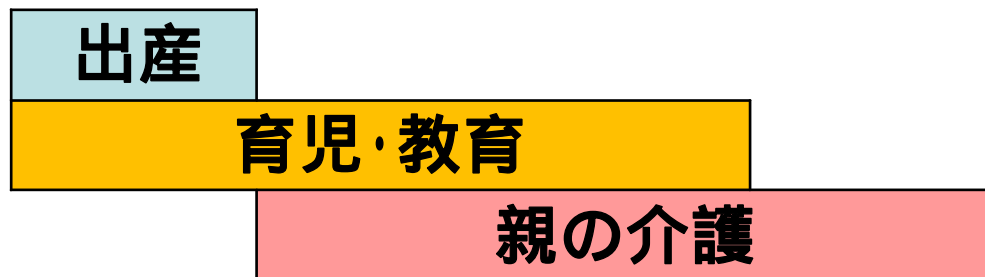
妻の結婚年齢別に見た、結婚持続期間別 平均出生子ども数



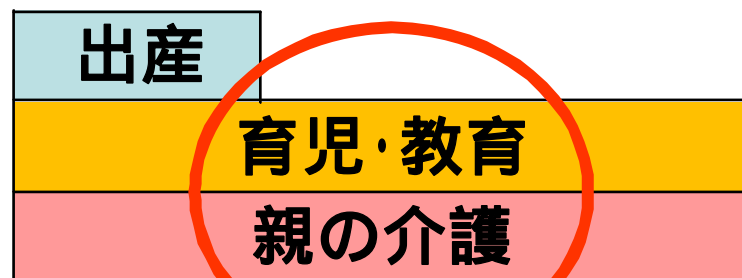
ライフプランニング

親の介護も考慮して

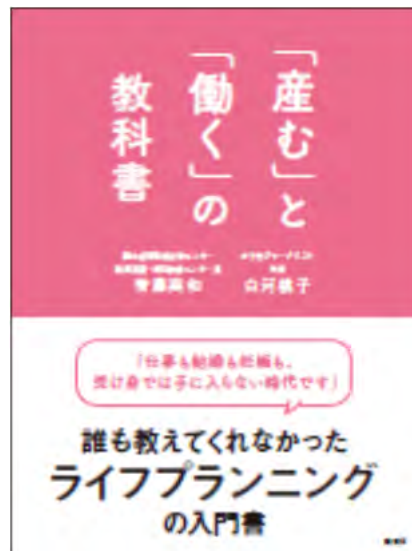
20代 30代 40代 50代 60代 70代



高齢で出産すると
親の介護も同時と
なる場合がある



情報発信 晩婚化・晩産化による不妊 に対する対策



<https://www.youtube.com/user/goninkatsu>



電子版コラム連載：男女で知ってほしい妊活

日本産科婦人科学会ホームページ

日本産科婦人科学会
Japan Society of Obstetrics and Gynecology

HOME 学術講演会 学会誌・刊行物 専門医申請関連 会員専用 Login 検索方法

日本産科婦人科学会について
声明
倫理に関する見解
学会活動について
一般のみなさまへ
医学生・研修医のみなさまへ
入会案内
関連リンク集

日本産科婦人科学会雑誌
JOGR Online Journal
JOGR Online Journal
JOGR Online Journal

最新のお知らせ
2014年10月7日 NEW
第5回産婦人科スプリング・フォーラム 参加者募集について【募集期間：平成26年10月15日～12月20日】(556KB)
2014年10月号のJOGRおよびGreen Journal(ACOG)の推薦論文を掲載しました。

トピックス
第67回日本産科婦人科学会学術講演会
会期：2015年4月9日(木)、10日(金)、11日(土)、12日(日)
会場：パシフィコ横浜
学術集会長：峯岸 敬(群馬大学教授) 詳細へ▶

女と男のディクショナリー
HUMAN+

女と男のディクショナリー

HUMAN+

日本産科婦人科学会編者

まとめ

- ① **不妊治療等の医学の発展があるから、いつでも妊娠できると考えないでください。**
- ② **男女**とも、若い時期に、また1日でも早い時期に、妊娠・出産等に関する正しい医学的な知識、またいろいろな制度を知って、**自らのライフプランを設計**できるようにしてください。

そして……
人生の最後に、……………

